

7月2日 あやめっこタイム（曾山先生の参観・指導）

橿形中学校区小中一貫教育では、「対話力」「かかわりの力」を育成するために、日々の授業の中での対話力の育成とともに、「Simple（スリンプル）プログラム」に小中学校で取り組んでいます。

「Simple プログラム」は、「かかわりプログラム Simple」代表の曾山和彦先生が考えた、人間関係改善（向上）のためのプログラムです。「Simple」という言葉は曾山先生の造語で、Slim（スリム）+Simple（シンプル）で Simple です。本校をはじめ、橿形地区の小中学校では「あやめっこタイム」、橿形中学校では「くっしータイム」という名称でこの Simple プログラムに取り組んでいます。本校では毎週水曜日の朝、北小タイムの時間にあやめっこタイムを行っています。

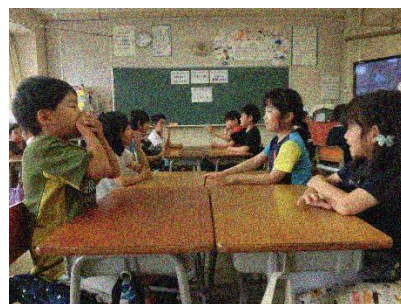
あやめっこタイムでは、クラスごとに2～4人組をつくって、

「質問ジャンケン」 「アドジャン」 「どちらを選ぶ」 「いいとこみつけ」

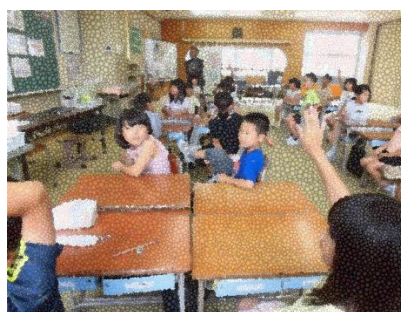
の4つのエクササイズに取り組めます。やり方は簡単です。

- 1 はじめに「お願いします」のあいさつを相互に交わします。
- 2 今日の活動の内容を確認し、友だちとのコミュニケーションをはじめます。例えば「アドジャン」では、グループごとにじゃんけんをし0～5本の指を出し、出された指の合計で、お題が決まります。「好きな食べ物は？」「夏休みにしたいことは？」などのお題について、自分の好きなものを答えていきます。それを「うなずきながら」「ニコニコ笑顔で」聞く約束があります。
- 3 次はフリートークです。2の答えについて「どうして〇〇が好きなの？」など理由を聞くなどして、お互いの「かかわり」を深めていきます。
- 4 最後に「ありがとうございました」のあいさつを相互に交わします。

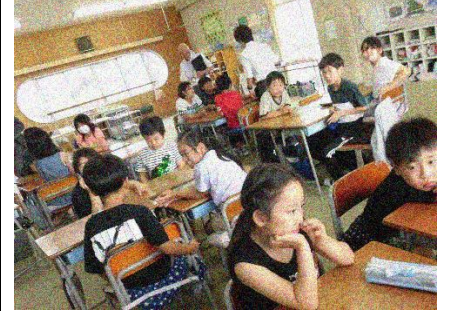
1年



2年



3年



4の1



4の2



5年



6年



全体で10分程度の短時間での取組ですが、「ソーシャルスキル・トレーニング」「構成的グループエンカウンター」などの技法を取り入れている、心理学的な知見に基づくプログラムになっています。

この Simple プログラムの実践を通して、子どもたちは友だちとの関わり方の基礎を学んでいきます。10分間の活動ですが、この活動の中でお互いを理解し合い、認め合い、尊重し合うことを経験し、子どもたちは1日を笑顔でスタートすることができます。また、あやめっ子タイムで経験した友だちとの関わりを、日常生活や日々の授業の中に生かしていくことで、更に仲間との関わりが良好なものになり、学級が子どもたちにとって居心地のよい居場所となり、いじめなどの諸問題の未然防止にもつながると考えられています。すでに日本各地の多くの学校でも取り組まれ、その効果が実証されています。

各学年とも、ルールを確認しながら、互いの話をうなずきながら聞き、交流できました。